

# 鴻鵠の志に夢のせて



03年度(平15)卒業式-中央は謝辞を述べる大嶺ちひろさん

## 卒業式 4222人 感動の門出

咲き始めた桜が惜別の雨に滲む3月22日、03年度(平15)専修大学卒業式が千代田区の日本武道館で挙行された。式場は子女の晴れ姿を見つめる父母らでぎっしり埋まり、卒業生4222人の門出を祝福した。

初めに出牛正芳学長・理事長から各学部総代に学位記を授与。川島記念賞受賞者26人に賞状とメダルが贈られた。不慮の事故を乗り越え、優秀な

成績で特別賞を受賞した二部経済学部の後藤三千雄さん(66歳)には会場から感動の拍手が沸き起こった。

出牛学長・理事長が式辞を述べ、小林清校友会長が新校友に祝辞を、リレハンメル五輪銅メダリスト堀井学さん(平6商、サクセスダイナミック北海道代表)が激励の言葉を贈った。

卒業生を代表して大嶺ちひろさんが謝辞を述べ、全員で校歌を斉唱して式を終えた。式終了後、定年退職された先生方に花束が贈られ惜別の拍手で見送られた。

■卒業式トップページ ■出牛学長・理事長の式辞 ■5学部長から卒業生へ贈る言葉 ■卒業生総代謝辞 ■学術賞総代のメッセージ ■体育賞総代のメッセージ ■川島記念賞一覧

【ニュース専修3月号1面】

# 鴻鵠の志に夢のせて

苦難乗り越え人は成長する 学長・理事長 出牛正芳

専修大学は、21世紀にあたり「社会知性」の開発を教育理念として掲げました。それは「専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核としながらも、深い人間理解と倫理観を持ち、地球的視野から独創的発想により、主体的に社会の諸活動の解決に取り組んでいける能力」の開発であります。皆さんは、本学で学んだものの一人として、心にとどめておいてください。



これから歩む21世紀は、決して平坦な道ばかりではありません。その成長の道のりには、幾多の越えなければならない苦難の峠があります。自己のペースを守り、難関に遭遇したなら、焦らず、じっくり問題の所在をしっかりと把握しながら解決策を講じてください。苦難を乗り越えるごとに、自分ではわかりませんが、必ず人間は成長していくものです。

21世紀を担う皆さんは、人間と自然が共生できるような社会にする責任を担っております。そのためにも、人間理解と確たる倫理観を持ち、素直に感動する心を持ちつづけてもらいたいものです。

この弥生の季節、皆さんは今世紀に芽生える若草です。大地に根ざし、志を高く持ち、自己啓発に努めるならば、本学で学んだ学問と教養は必ず生きたものとなり、現実の社会生活を実りあるものにしてくれるでしょう。

皆さんの今後の活躍と人生が充実したものであることを祈念しお祝いの辞とします。

■卒業式トップページ ■出牛学長・理事長の式辞 ■5学部長から卒業生へ贈る言葉 ■卒業生総代謝辞 ■学術賞総代のメッセージ ■体育賞総代のメッセージ ■川島記念賞一覧

【ニュース専修3月号1面】

# 鴻鵠の志に夢のせて

## ●5学部長から卒業生に贈る言葉●

自分で考え、自分で立とう 経済学部長 高橋祐吉

雇用環境の厳しいこの時期に、多くの4年生が奮闘の末就職先を見つけ、無事卒業にまでこぎつけたことは、じつに喜ばしいことだ。月並みだが私にも「卒業おめでとう」と言わせてもらいたい。これからは「不器用だけれどしらげずに」、「純粹だけど野暮じゃない」、「飾った世界に流されず」(河島英五「時代おくれ」)歩み続けてほしい。自衛隊のイラク派兵などもあって、このところ世の中が騒がしい。そうした時代であればこそ、自分の足で大地に立ち、自分の頭で考え、自分の声を発揮することが必要なのではないか。そうすれば、みんなの未来はつつましくも明るいものになるはずだ。かつて、詩人は「僕の前に道はない 僕の後ろに道は出来る」(高村光太郎「道程」)と歌った。その凜とした思いを感じ取って、社会に踏み出してもらいたいものだ。

生涯の友を得、大輪の花を 法学部長 日高義博

卒業、おめでとうございます。学生生活を振り返ってみて、強く印象に残っていることは何でしょうか。いろいろなタイプの人に出会い、それまでの自分の殻を破ってパラダイムの転換をした人もあれば、自分の可能性を求めて、ひたすら勉学にあるいはサークル活動に没頭した人もいるでしょう。4年間の勉学の成果は、すぐには形になりませんが、苦難を共にした友は生涯の友となり、真摯に精進したことは、必ずや大輪の花を咲かせます。専修大学で共に学んだことに自信と誇りを持ち、大きな志に向かって学窓を飛び立ってください。諸君の今後の活躍と発展を期待しております。

地球の構成員たる自覚持て 経営学部長 魚田勝臣

諸君が大学生活の間に良き師、良き友を得、良き情報に出会う術を身につけたと信じてほしい。そして生涯それを大切にしてほしい。

経営学部で、組織の経営について広く学んだ自信と誇りを持って活躍してほしい。その際、自らが地球の構成員、つまり大自然の一部であり、それを励み次世代に継承していく責務があることを片時も忘れないでほしい。

君たちの人生がすばらしいものであることを願ってやまない。

強い意志で自らの道究めよ 商学部長 大西勝明

商学部は、深い教養に裏打ちされた高い専門教育を目指しており、特に本年度のカリキュラムの下で斬新的な教育を実施してきたつもりです。ですから、新しい旅立ちを控え、第一に、大学を卒業するということに自信を持っていただきたい。第二に、もう一度、自分の将来について夢や目的を再確認してもらいたい。第三に、選択しつつあるそれぞれの道を自分なりに究めていくという強い意志をもって、へこたれずに夢や目的にチャレンジし続けてもらいたい。謙虚さと博愛の精神の忘れずに。諸君の自信と明確な目的と強靱な意志と精神力の持続は、必ず、諸君自身と諸君を取り巻く環境、世界の変革に繋がることでしょう。一層の成長を期待しています。

研鑽積んで深い自己省察を 文学部長 荒木敏夫

卒業おめでとうございます。学生から社会人として巣立つ皆さんに、「卒業おめでとうございます」の祝辞をおくります。これからは、今まで以上に、自己に対する責任の自覚が強く要求されてきます。そのことに応えていくためには、不断の研鑽が必要となるはずです。願わくは、その時、不断の研鑽に伴う責任の自覚が、深い自己省察を経て、はじめて真の人間が形成されることを、「人間は二度生まれる」と指摘したパスカルの言に想いをいたしてもらえたらと思います。

贈る言葉 ■ 卒業生総代謝辞 ■ 学術賞総代のメッセージ ■ 体育賞総代のメッセージ ■ 川島記念賞一覧

【ニュース専修3月号1面】